

エンジマイ園芸

野菜

鮫島 國親

若いサヤを刻んだときに
出る独特のぬめりと風味が
特徴の緑黄色野菜です。食
物繊維、ビタミン類、カル
シウムなどを多く含み栄養
価が高いことから、近年急
速に消費が伸びてきていま
す。

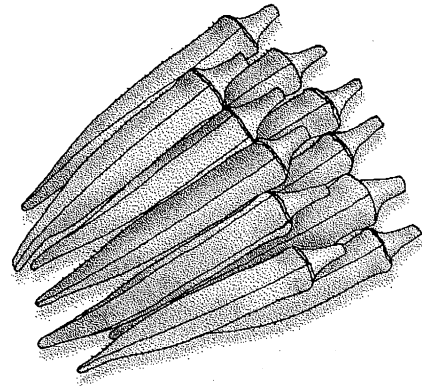
鹿児島県は暖地の有利性
を生かした早出し栽培が盛
んです。ハイビスカスの仲
央は赤、大きな黄色い花（中
央は赤）が夜から早朝にか
けて咲き、昼にはしぼんで
しまいます。軟らかい若サ
ヤは天ぷら、酢の物、あえ
物、スープなどに幅広く利
用されます。また、さっと
ゆでて小口切りにし、しょ
うゆとかつお節をかけて食
べるとおいしさが一層引き

オクラ

立ちます。今回は夏場に家
庭菜園で手軽に作れる露地
栽培を紹介します。

生育適温は二〇―三〇
度、発芽適温は二八―三〇
度です。土壌はあまり選
びませんが、耕土の深い肥よ
くな土壌を好みます。乾燥
には強いですが、乾燥が続
くと生育が劣り、サヤの品
質が低下します。連作する
と土壌病害やネコブセンチ
ユウの被害が出やすくなる
ので、輪作が望ましいです。
種まきの適期は霜の恐れ
がなくなる五月ごろです。
日当たりの良い場所を選び
ましょう。本ほには一平方
メートルあたり苦土石灰百ポ
ン、肥一―二キ、化学肥料六十
ポ（三要素15%の場合）を

家庭菜園で手軽に栽培



目安として施します。栽植
密度はうね幅百六十ポ、株
間十五―二十ポ、二条（条
間四十五ポ）とします。直
まきが一般的です。

一穴四粒程度まいて適当
な水分状態を保ちます。冷
涼な地域では地温を確保す
るために透明ポリや黒ポリ
をマルチして発芽や初期生
育を促進しましょう。本葉
五―六枚のころ、一穴二―
三本残して他は間引きしま
す。追肥は草勢を見ながら行
います（化学肥料十一―二十
ポ/回）。草勢が弱ると生
長点から開花位置までが短
くなります。生育が進み、
葉がこみ合っていると光線
不足となり、花の着きが悪
くなるので、収穫サヤの下
一―二枚を残して下葉を除
去しましょう。

くらし

悠遊優



五月にまくと七月から収
穫が始まり十月ごろまで采
しめます。開花後四―七日、
サヤ長八―十ポで収穫しま
す。
（鹿児島県農業開発総合
センター副所長）